

2013年度後期 スポーツ健康科学研究科 修士論文公聴会 タイムスケジュール

日時: 2月11日 (火) 9:20～17:20

場所: インテグレーションコア1F アカデミックラウンジ

開会の挨拶: 田畑研究科長 閉会の挨拶: 伊坂教授 司会: 木村助教、本間特任助教

開始	終了	氏名	修士論文題名
9:20 開会の挨拶 田畑研究科長			
9:30	9:50	青木 拓巳	12ヶ月間の歩行運動介入が高齢者の睡眠およびメンタルヘルスに与える影響
9:50	10:10	井口 雅仁	バウンディング運動と短距離走の運動学的比較 ～疾走速度向上を目的としたバウンディング運動の有効性の検討～
10:10	10:30	伊地智 敏晃	1日2回行うスプリントトレーニングの効果
10:30	10:50	今川 新悟	多面的な心理的指標に基づいた指導法の検討 -アイスホッケー競技を対象として-
10:50	11:10	植田 千尋	高強度運動による大腸癌発症抑制効果の機序解明
11:10	11:30	陰田 朋世	トレーニング負荷の増加にともなう運動パフォーマンス、 生理的および心理的コンディション指標の経時変化
11:30	12:30	昼休憩1時間	
12:30	12:50	岡本 麻以	大学運動部におけるチームメイトからの被受容感がチームゴールコミットメントに 与える影響 -組織内自尊心と他者志向的動機に着目して-
12:50	13:10	戸田 遥子	アスリートの骨格筋量を用いた基礎代謝量推定式の開発
13:10	13:30	西 純平	野球打撃におけるバスター動作活用法の検討
13:30	13:50	濱口 佳奈子	間欠的な低負荷パワートレーニングが転倒骨折リスクに及ぼす影響
13:50	14:10	福原 祐介	男子サッカー守備選手を対象としたカウンターステップの有効性の検討 -後方への方向転換とその後の疾走動作に着目して-
14:10	14:20	休憩10分	
14:20	14:40	福村 真耶子	触覚情報付加が運動学習効果に与える影響
14:40	15:00	藤谷 亮	姿勢の違いが歩行と筋活動に与える影響
15:00	15:20	増田 一太	子どもの腰痛リスクファクターの検討 -座位姿勢に着目して-
15:20	15:40	森 文香	高強度運動後のリカバリー中におけるコンプレッションウェアの着用が パフォーマンスの回復に及ぼす影響
15:40	15:50	休憩10分	
15:50	16:10	渡邊 史子	スポーツを「みる」行動がスポーツを「する」行動意図に及ぼす影響
16:10	16:30	和智 道生	腹臥位での股関節伸展動作 (PHE動作) を用いた体幹、下肢の機能的左右差の検討
16:30	16:50	大石 禎実	低強度運動と乳酸・カフェインの併用が骨格筋肥大因子に与える影響の解析
16:50	17:10	桑木 趙至	下肢用スポーツウェアの弾性特性を考慮した下肢力学モデルの構築と妥当性の検証
17:10 閉会の挨拶 伊坂教授			

■ご自由に参加頂けますが、発表途中の入退室は避けてください■

■朝から参加される場合は、9:15には着席してください■

■当日は、修士論文の要旨をまとめた冊子を配布します■

【発表者への連絡事項】

※ 公聴会の実施方針は2013年12月に発表のものを確認してください。

※ プレゼンテーション用パワーポイントは、USBメモリに保存し、当日の会場に直接持参すること。午前の発表者は9:00～9:15、午後の発表者は昼休憩の間に会場用パソコンに接続してあるUSBメモリに保存すること。